

産科医療体制検討専門委員会

(令和元年度)

産科医療体制検討専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 産科医療体制検討専門委員会

委員長 工藤 美樹

県内における分娩施設の集約化を行うことにより、これまで産科医療提供体制を維持してきた。しかし、医療を提供する側と受ける側の双方において状況が変化したために、現在の体制を維持するのが困難になってきた。そこで、今後に向けて持続性のある産科医療提供体制を構築する目的で本委員会を設置した。しかし、本年度は会議の開催は1回のみであった。

I. 医療圏域における産科医療提供体制の現状について

広島県が管理する資料によると、医療圏域別の主たる診療科として産科・婦人科を標榜する医師数は、広島圏域ではその減少が顕著であるが、広島中央圏域や福山・府中圏域においては若干増加している。広島県における分娩取扱施設数は年々減少しており、現在49施設である。分娩件数は、県全体では減少傾向であるが、広島中央圏域においては増加している。

また、分娩のうち開業医で扱うものが約65%であり、分娩数全体に占める割合は増加傾向である。

II. 産科医療提供体制検討のためのアンケートについて

上記の産科医療の現状は、分娩施設の集約化を行った約10年前と比較して明らかに変化してきており、現状を正確に反映する資料を作成する必要がある。その目的で、広島県内の分娩取扱医療機関(49施設)にアンケート調査を行うこととし、そのための調査書式を作成した。

III. 次年度の活動

令和2年4月にアンケート調査を実施し、現在はその結果を事務局で解析中である。その結果に基づいて、持続性のある産科医療提供体制の構築について協議する予定である。また、医師の働き方改革にも対応できるような体制についても検討する。

広島県地域保健対策協議会 産科医療体制検討専門委員会

委員長 工藤 美樹 広島大学大学院医系科学研究科産科婦人科学
委員 青江 尚志 福山市民病院
児玉 順一 広島市立広島市民病院
児玉 尚志 東広島医療センター
斉藤 一博 広島県健康福祉局医療介護人材課
坂下 知久 JA尾道総合病院
土谷 治子 土谷総合病院
豊田 紳敬 広島県産婦人科医会
中西 敏夫 広島県医師会
中西 慶喜 JA広島総合病院
藤原 久也 中国労災病院
藤本 英夫 市立三次中央病院
水之江知哉 呉医療センター・中国がんセンター
三好 博史 県立広島病院
森 美喜夫 広島県医師会
山本 暖 福山医療センター
吉田 康子 広島県助産師会